

県立図書館 It's new!

うちで読もうよ

Stay Home! Read Books!



私たちが
デザインしました!

プロジェクト 展開中!

この取組は、学校が臨時休業中の子供たちの学びを支援する「図書貸出事業」として始まりました。学校再開後も長引くコロナ禍で不安やストレスを抱える子供たちが多く考えられます。本は、癒し・悩みの解決や生き方のヒント・学びなど、心の元気をチャージしてくれます。ぜひ、ご活用ください。



プロジェクト
キャンペーン
トートバッグ

プロジェクト1

青少年のための電子図書館サービス With Booksひろしま を開設

県内在住又は在学・在勤している方であれば、
無料でいつでもどこでも手軽に本を読むことができます!

- パソコンやスマホ、タブレットがあればOK。
- 豊富なラインナップで約7,000冊が全て貸出無料。
- 中高生向けの本が充実。
- 1度に2冊まで、14日間借りることができ、予約も可能。
- 貸出期間が終了すると自動的に返却。

こんなに
便利

電子図書館トップページはこちら。
With Booksひろしま



プロジェクト2

子供たちに図書セットをお届け!

学校や幼稚園・保育所はもちろん、放課後児童クラブ、
フリースクールなど乳幼児から高校生まで子供たちが
利用する施設に本を届けます!

こんなに
便利

- 年齢や学年、目的に応じた「図書セット(1セット25冊)」
をご用意。1施設当たり最大4セットまで、60日間貸出。
- 貸出・返却にかかる送料はすべて無料。

詳しくは県立図書館HPを
ご覧ください。

広島県立図書館 うちで読もうよ



お問合せ先

県立図書館 総務課
TEL 082(241)4970
tsksoumu@pref.hiroshima.lg.jp

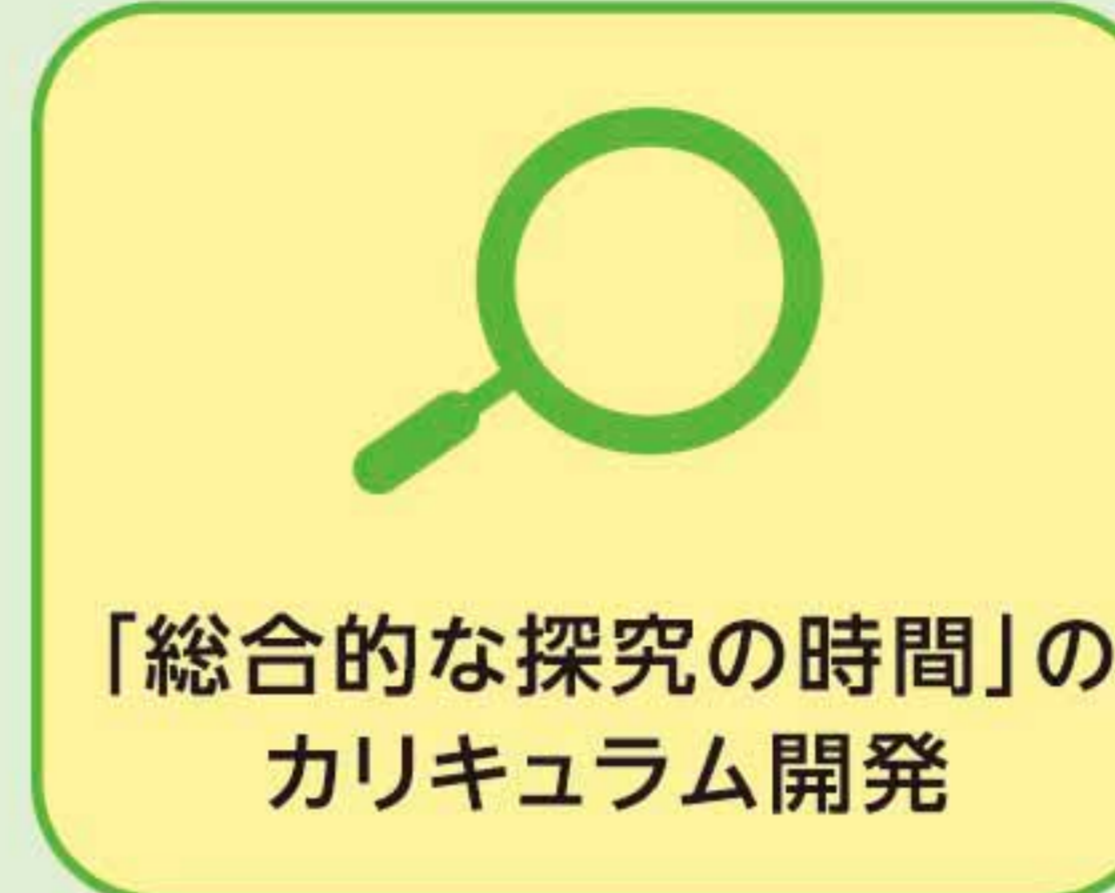
Pick
UP

WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業

WWL(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業

この事業では、複数の高校、大学、企業等が協働して、高度かつ多様な科目内容を生徒の興味・関心に応じて学ぶことができる学習プログラムを開発するなど、様々な取組を進めています。

主な取組例



「総合的な探究の時間」の
カリキュラム開発



外国語と文理教科との
融合科目の開発



高校生国際会議の
企画・運営



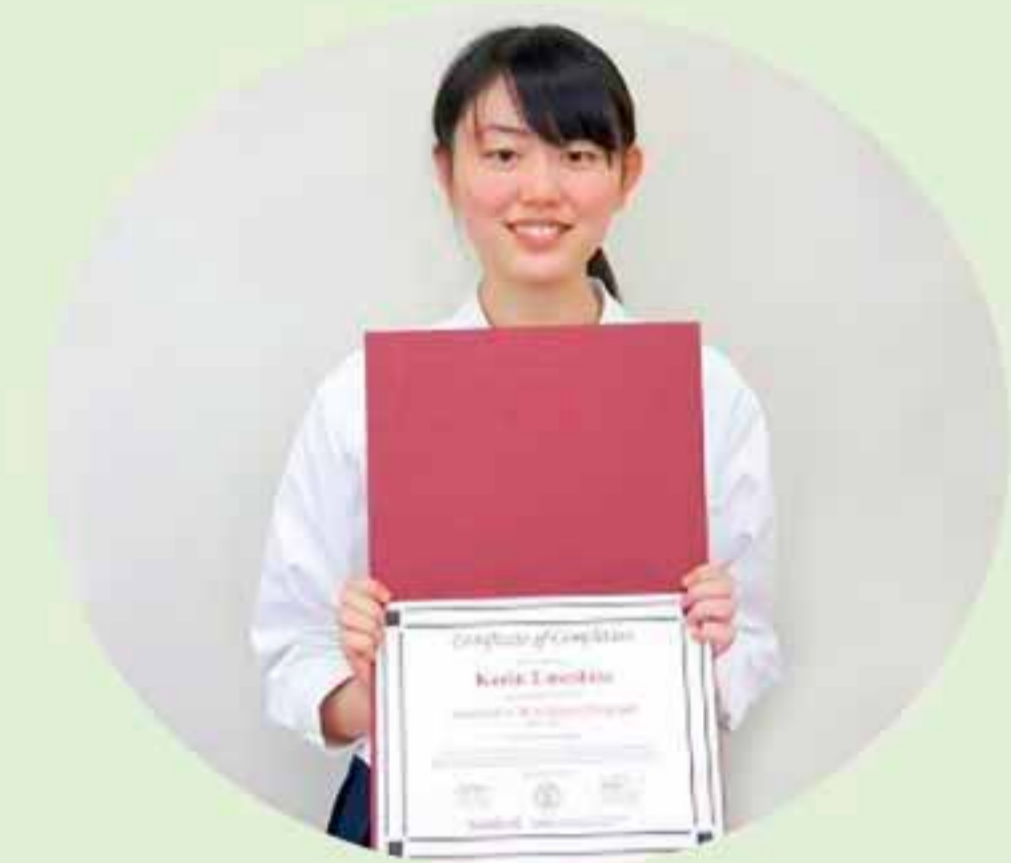
大学と連携した
高度な学び

今回は、県内の高校生に大学と連携した高度な学びを提供する「Stanford e-Hiroshima」。オンラインによる米国スタンフォード大学の講義の視聴、生徒同士のディスカッションや意見の投稿など、全て英語で行われます。生徒はこのようなプロセスで学んだ6つのテーマから自分の関心のあるテーマについて研究し、その研究の成果をレポートにまとめ、発表します。昨年度に受講した29名のうち2名の生徒が最優秀賞を受賞しました。最優秀賞を受賞した2名は、来年3月29日に米国スタンフォード大学でのセレモニーに招待され、それぞれの研究成果を発表する予定です。



県立世羅高等学校
まつやま りょうや
松山 凌也さん

研究テーマ
米国と日本の海洋の酸性化



県立広島高等学校
うめした かりん
梅下 華琳さん

研究テーマ
産学連携と地域創生の相関

オンライン留学プログラムで世界に触れよう!

新型コロナウイルス感染症の影響により海外への渡航が制限されている中、県教育委員会では、「異文化間協働活動」をテーマに、ホームページで高校生などを対象とする無料のオンラインプログラムをご案内しています。ぜひオンライン留学に挑戦してみてください。

詳しくは
HPを
チェック!



応援
メッセージ
動画

子供たちへメッセージ Hiroshima 2020

広島県ゆかりの著名人からの応援メッセージを
県教育委員会ホームページで配信中です!

好評
配信中!

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、様々な制限の中で学校生活を送っている子供たちに向けて、スポーツ選手や広島交響楽団の指揮者、STU48のメンバーなど、スポーツ、アートなどの様々な分野で活躍する広島県ゆかりの著名人から寄せられた応援メッセージを動画で配信しています。ハンドボールのイズミメイプルレッズの山根楓選手と倉岡愛実選手は、「充実した学校生活を送るために、手洗いうがいを心がけ、コロナに負けないよう頑張りましょう!」とメッセージを送っていただきました。将来の夢や希望に向けて学ぶ広島県内の子供たちに元気を届ける応援メッセージに、ぜひアクセスしてみてください。

コロナに負けないよう
頑張りましょう!

手洗いうがい
しっかりしようね!



県教育委員会の
ホームページを
チェックしよう



特別支援学校の取組

県立尾道特別支援学校しまなみ分校

地域の水族館で学ぼう!

県立尾道特別支援学校しまなみ分校は、平成29年度から「福山大学マリンバイオセンター」(水族館)と連携し、海の生き物をテーマにした学びを続けています。児童生徒が水族館を訪れて、展示観察やお魚クイズ、バックヤードツアーなどを通して瀬戸内海の生き物の生態について学ぶとともに、大学生がしまなみ分校を訪問して魚の模型作りや創作劇の制作・発表に共同で取り組むなど、定期的な交流を行って相互の学びを深めています。現在、水族館は休館が続いていますが、屋外で調査を行ったり、児童生徒が採取した生き物を、オンラインを活用して大学生に説明してもらったりするなどの取組を今年度も続けています。

水族館近くの
干潟の生き物を
観察しました。



水族館のバックヤードを
見学。海の生き物の生態
について学びました。



昨年の分校祭では
魚をテーマにした
創作劇を共同で上演!